



羅臼町議会だより



しれとこ

第1回定例議会	2~4
一般質問	5~7
平成25年度会計予算	8~9

平成25年
第137号
 4月10日



誠諦寺のしだれ松と桜

平成25年

第1回定例議会

去る3月8日～15日、平成25年第1回定例議会が行われ、専決処分及び補正予算及び平成25年度予算などが審議され、全て原案通り可決した。

専決処分

平成24年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

補正額 **4,065**万円

総務費	防災対策に要する経費	30万円
衛生費	葬斎場・霊園管理運営に要する経費	35万円
土木費	町道維持補修及び除雪に要する経費	4,000万円
合 計		4,065万円

一般会計

平成24年度目梨郡羅臼町一般会計補正予算

補正額 **△1,707**万円

総務費	その他一般行政に要する経費	306万円
	町有バスに要する経費	10万円
	その他電算システム等運用に要する経費	△44万円
	防災対策に要する経費	△57万円
民生費	障がい者自立支援事業に要する経費	297万円
	重度心身障がい者医療費助成事業に要する経費	△310万円
	特別会計繰出金に要する経費	△124万円
	後期高齢者医療費負担金	178万円
衛生費	生活習慣病・がん検診に要する経費	25万円
清掃費	し尿処理に要する経費	△134万円
	根室北部廃棄物処理広域連合に要する経費	△307万円
教育費	教育団体・各種委員会等に要する経費	120万円
	小学校の管理に要する経費	48万円

	中学校の管理に要する経費	89万円
	中学校教育振興に要する経費	△90万円
	公民館管理運営に要する経費	150万円
	その他スポーツ振興に要する経費	△40万円
	給食センター管理運営に要する経費	149万円
職員費	給与費	△1,973万円
	合 計	△1,707万円

平成24年度目梨郡羅臼町国民健康保険事業特別会計補正予算

補正額 **2,799**万円

総務費	その他国保一般事務に要する経費	19万円
保険給付費	一般被保険者療養給付費	△343万円
共同事業拠出金	高額医療費共同事業医療費拠出金	△295万円
	保険財政共同安定化事業拠出金	1,142万円
諸支出金	返還金	2,276万円
	合 計	2,799万円

平成24年度目梨郡羅臼町介護保険事業特別会計補正予算

補正額 **△1,337**万円

総務費	介護保険業務に要する経費	60万円
	認定調査に要する経費	18万円
保険給付費	介護サービス等給付に要する経費	△1,500万円
	介護予防住宅改修に要する経費	△50万円
	高額医療合算介護サービスに要する経費	135万円
	合 計	△1,337万円

平成24年度目梨郡羅臼町後期高齢者医療事業特別会計補正予算

補正額 **120**万円

後期高齢者医療 広域連合納付金	後期高齢者医療広域連合納付金	120万円
	合 計	120万円

条例制定 条例改正

職員の給与の特例に関する条例制定について

羅臼町老人福祉センター等設置条例の一部を改正する条例制定について

羅臼町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

羅臼町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの人員、設備及び運営に係る基準に関する条例制定について

羅臼町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例制定について

羅臼町介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例制定について

羅臼町道路の構造の技術的基準等を定める条例制定について

羅臼町高齢者・障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造に関する基準を定める条例制定について

羅臼町町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例制定について

羅臼町町営住宅等整備基準条例制定について

羅臼町水道布設工事監督者の配置基準及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例制定について

公の施設に係る指定管理者の指定について

羅臼町議会会議規則の一部を改正する規則制定について

羅臼町議会委員会条例の一部を改正する条例制定について

意見書

平成25年度地方財政対策に関する意見書

安心できる介護制度の実現を求める意見書

T P P 交渉参加阻止を求める意見書

平成25年3月定例議会

一般質問

3議員による12件の質問が提出され、町長・教育長の考えを問いました。

高齢者の孤立死をなくすための取り組みを

坂本 志郎議員



この数年
間、羅臼町
で誰にも看
取られず自

宅で亡くなり数日後に発見された高齢者が平成二十二年二名、二十三年二名、二十四年一名、今年一月に二名います。

地域で孤立死を防ぐためには普段から孤立している人を見逃さず、存在を意識し、関わり方について隣近所で話し合う事が大切です。行政として町内会等と協力しながら高齢者世帯の生活実態調査をしっかりと行い、孤立死対策を講ずべき対象者を明らかにして、地域全体でより組織的に「見守り」や災害時の支援体制を確立し、「老いても安心して暮らせるまちづくり」を目指すことが求められます。

町長

地域全体でお年寄りのための見守りネットワークの構築を図っていく

独居高齢者等の見守りについて、町の事業として緊急通報システム、保健師等の訪問活動、電話による安否確認や民生児童委員の見守り活動があります。現在高齢者世帯を中心に援護が必要な方々の把握作業を行っており、関係機関と協力しながら「お年寄りのための見守りネットワーク」体制の構築を図っていきます。

羅臼町の人口減少は多町との比較で突出して進行している。対策が必要ではないか

坂本 志郎議員

平成元年から平成二十三年の間、人口減少の割合は標津町八十一%、別海町八十五・五%、中標津町一〇九・九%、羅臼町七十六・

四%と、当町は二十三・六%の減少、最近十年間の根室管内の平均人口減少率はマイナス六・九%に対し当町は十四・七%の減少、一世帯当たり人員は平成十一年三・三人から十年後の平成二十一年には二・八人と減少。

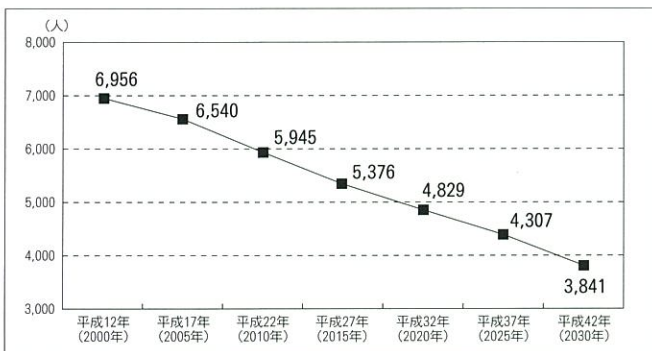
産業別では一次産業で十九・五%の減少、基幹産業の漁業では三百六十五人減って十九・三%、約二割減少しています。直近の六年間、十五歳未満の人口は千四百一人から七百八十六人、十五才から六十四才まででは四千二百二十一人から三千七百四十五人へ減少、全体として主要産業の衰退傾向と少子化状況が見てとれます。人口減少対策が急務です。

町長

子育て環境の整備、交流人口拡大、産業活性化の施策を維持推進する

人口減少が及ぼす影響は

地域の持続可能性を基盤から揺るがす事態をもたらします。経済活動の鈍化、税や社会保障の負担増、町内会の活力低下、又、子育て、健全な教育環境をも奪い、次代を担う子供達の成長に悪影響を与えることも少なくありません。人口減少対策の基盤となるものは「安心して安全に暮らせる町づくり」であり、医療を含め各種施策を体系的に維持、推進していきます。



基幹産業の漁業の危機と実態把握と今後の対応策

高村 和史議員



●漁業従事者が、漁獲減、漁獲値の安価等、

その件に伴う後継者問題、又経営困難に陥り、更に廃業を余儀なくされ、現状を踏まえ先行き不安に陥っている。又関連する業種等の不況に町民は雇用の場を失いつつあり事態は深刻な異常事態であり、今迄行政と

一般質問と答弁は要約されています

議会だよりでは、質問、答弁の内容を要約して載せています。質問、答弁の全文について詳しくお知りになりたい方は、町役場議会事務局までお問い合わせ下さい。

して漁業問題に対して施策取り組みはしているが、この諸問題は緊急課題です。漁業者の経営の安定確保等、羅臼町の存亡を懸けた後継者問題。次世代に繋げる政策が急務と考え、お伺い致します。



●漁業に対する振興策を構築すべきです。漁業従事者、国や道、関係諸団体を含めた意見交流も必要です。総合的に判断し、諸問題の「ビジョン」の策定も必要と考え、お伺い致します。

●魚価の安定と年間関係業者が稼働出来るシステムの構築が必要です。漁獲した魚類を確保する冷凍・冷蔵施設「ストックヤード」の施設整備も視野に入れるべきと思う。考えを示して下さい。

●羅臼の産物の象徴「羅臼昆布」があります。昆布業者は伝統ある「昆布」の生産を守ろうと必死で頑張っています。漁獲量と漁獲値のバランスが崩れ、時には休業も余儀なくされ、後継者、継続問題等厳しい判断を強いられ一番厳しい廃業を選択しなければならぬ、昆布生産業者の悲痛な叫びです。行政として地場産業の昆布業者を、安定経営が出来る政策が必要と考える。

●「PR」又販売方法等、官民一体となって取り組みが必要で、漁組、国や道、昆布業者、関連する業者等含めて、意見交換等含め、今行政としての取り組みも必然です。考えをお示し下さい。



町長 漁協の課題について、可能な限りの対応をします

●町は、漁協の実施する「沿岸資源増大事業」に積極的に協力し、又助宗鱈資源に壊滅的な打撃を与えている「ロシアトロール船即時停止」の中央要請も「オー

ル羅臼」で今後も継続実施します。又、現在、漁協では「所得格差是正検討委員会」を設置し、漁業者の経営安定方策を検討中です。

●「ビジョン」の策定については、「羅臼産業活性化協議会」の設立、国や道、関連する方々町内十五団体の代表と意見交換をし、産業活性化に向けた取り組み「らうす産業活性化プラン」を策定した。進捗状況を点検、評価をしながら推進してまいります。

●冷凍・冷蔵庫の「ストックヤード」の施設整備については、「イニシャルコス

ト」及び「ランニングコスト」が膨大であり課題も多く整備には至っていない。国、道の支援には農水省の「強い水産業づくり交付金制度」があり、交付率は二分の一又は三分の一となっております。

●昆布の消費拡大対策が急務と思う。今後も消費拡大の活動を積極的に支援する。価格低迷に対応策は、道・漁連・漁協による「北海道昆布専門委員会」が設置、現在、対策を検討中である。又漁協の課題について、可能な限りの対応をします。

その他の質問

- ・乗組員又漁業関係従事者の生活安定確保の件
- ・漁業者の後継・担い手の対策
- ・低所得者乗組員に税を含め救済措置はないのか

地域産業の活性化
について

高島 讓二議員



平成二十
五年度、町
長行政執行
方針が公表

されました。まちづくりの
基本方向で六つのテーマが
示されております。その中
で、とりわけ我が町の経済
発展に対する町長の決意と
基幹産業である漁業、水産
加工業、観光について四点
お聞きします。

①我が町の主要魚種である
ホッケ・スケソウの水揚げ
量が減少し、刺し網漁業に
は厳しい状況であり、それ
を加工する地元加工業及び
加工に携わっている町民の
方々にも経済的影響があり
ます。

水揚げ量の減少の要因を
どのように分析しているか。
②地域産業の活性化には新
たな商品開発や地場水産品
の高付加価値化、水産加工

品の開発や未利用沿岸資源
の有効活用の具体策は。

③観光について我が町にお
ける課題や問題点はなにか。

④道の駅界隈の観光振興策
について述べておりますが、

平成二十三年度に予算化し、
コンサルタント会社に依頼
し計画案を作成しました。

その結果について。また、
最終的にどのようなイメー
ジプランを描いているのか、
お聞きします。



観光船乗場のトイレ

町長

我が町発展のため
リーダーシップを
発揮していきたい

①ホッケ、スケソウダラは
主要魚種であり、漁獲量の
増減が漁業経営に関わって
きます。

ここ一、二年これらが減
少しているが、その要因と
して海水温が上昇し餌とな
るプランクトンの減少、ロ
シアトロール船による操業
が挙げられます。

トロール船操業即時停止
をオール羅臼で要請活動を
行っていきます。

②羅臼漁港では海洋深層水
を利用した鮮度保持と衛生
管理を行っており、安全、
安心も付加価値の一つとし
て、これを継続していく。

昨年「羅臼町陸上生産研
究会」によるアワビ養殖を
視察したが、採算性の問題
から断念した。しかし、専
門家のアドバイスを頂き、
海藻類や貝類を模索中であ

る。

③観光についての課題問題
点については、宿泊を伴わ
ない通過型の修学旅行であ
り、今後は滞在型として誘
致するため課題解決を図っ
ていく。

ここ数年国内外のバード
ウォッチングの観光客が増
えており、外国語表示のパ
ンフレットや案内板の整備
が課題となっている。

観光資源、海の幸など
「量」より「質」に重きを
おき「おもてなしの心」を
持つて、観光客を受け入れ
る事が重要である。今後も
羅臼町のトップセールスマ
ンとしてPRに努める。

④道の駅界隈の観光振興に
ついては、計画の目的、ア
ンケートとヒアリング調査
からコンセプトと方向性、
基本構想、推進方策につい
てまとめた。

「本町界隈を活性化する
会」が発足され、活動の中
心となり、地域の理解を求
めた。

ソフト、ハード両面で中
長期的に取り組んでいく。
地域産業の活性化には、
漁協、商工会、観光協会と
ともに、ケースバイケース
でリーダーシップを発揮し
て参りたい。



鮭、ぶし



昆布製品

平成25年度

予算審査

特別委員会報告!!

各会計 予算が決定

平成24年度第4回定例会において予算審査特別委員会が設置（試行）され本議会休会中の3月12、13、14日の3日間にわたって慎重かつ熱心に審査が行われ、委員全員一致により原案のとおり可決、決定された事が佐藤 晶委員長より報告された。

▶ 一般会計歳入 **34億1,817万3千円** (単位：千円)

	本年度予算額	前年度予算額	比 較
1. 町税	687,671	663,419	24,252
2. 地方譲与税	22,053	22,887	△834
3. 利子割交付金	2,392	2,834	△442
4. 配当割交付金	804	733	71
5. 株式等譲渡所得割交付金	209	281	△72
6. 地方消費税交付金	64,707	67,236	△2,529
7. 自動車取得税交付金	3,721	4,161	△440
8. 地方特例交付金	8,727	7,535	1,192
9. 地方交付税	1,924,000	1,910,000	14,000
10. 交通安全対策特別交付金	1	363	△362
11. 分担金及び負担金	39,392	38,195	1,197
12. 使用料及び手数料	138,572	172,344	△33,772
13. 国庫支出金	143,186	99,085	44,101
14. 道支出金	114,689	126,426	△11,737
15. 財産収入	17,533	21,742	△4,209
16. 寄附金	5,595	11,461	△5,866
17. 繰入金	5,660	127,301	△121,641
18. 繰越金	1	1	0
19. 諸収入	24,060	26,514	△2,454
20. 町債	215,200	189,401	25,799
歳 入 合 計	3,418,173	3,491,919	△73,746

▶ 一般会計歳出

34億1,817万3千円

(単位：千円)

	本年度予算額	前年度予算額	比 較
1. 議会費	37,078	37,966	△888
2. 総務費	609,828	546,948	62,880
3. 民生費	409,821	451,019	△41,198
4. 衛生費	587,465	668,476	△81,011
5. 農林水産業費	49,827	49,486	341
6. 商工費	77,225	86,797	△9,572
7. 土木費	92,132	60,415	31,717
8. 教育費	264,658	274,401	△9,743
9. 公債費	441,333	448,605	△7,272
10. 職員費	843,806	862,806	△19,000
11. 予備費	5,000	5,000	0
歳 出 合 計	3,418,173	3,491,919	△73,746

▶ 特別会計〈歳入・歳出〉

(単位：千円)

	本年度予算額	前年度予算額	比 較
国民健康保険事業	1,120,699	1,145,834	△25,135
介護保険事業	448,735	404,503	44,232
後期高齢者医療事業	56,410	54,530	1,880
国民健康保険診療所	160,634	528,267	△367,633

▶ 水道事業会計〈歳入・歳出〉

(単位：千円)

	本年度予算額	前年度予算額	比 較
水道事業会計	203,007	200,022	2,985

予算審議総括

〈歳入〉

◆歳入増の可能性について
 圏歳入歳出を七・八%減と
 している。

◆滞納強化について
 圏公平・公明・公正のため
 に徴収を強化する。

◆指定管理委託が増えてい
 るが利点は
 圏人件費が大きく、住民サー
 ビスが向上するよう期待
 する。

◆使用料について
 圏今後、適正値について検
 討する。

〈歳出〉

◆学校改革に基金積立金と
 して一億円。

◆公営住宅等長寿命化計画
 について作成委員会を設
 置し調査を行う。

◆防災対策費として備品を
 追加する。

◆公住橋長寿命化に要する
 経費として三千二百万円
 計上。

議会の動き

1 月

- 16日 議会だより編集特別委員会
山本内閣府特命担当大臣の北方領土視察に係る懇談会
(根室市) 議長
- 23日 議会運営委員会
議会だより編集特別委員会
- 24日 第9回議会改革推進特別委員会
羅臼町行政懇談会 議長
- 29日～30日 町長・議会議長と商工会正副会長が新年を迎え語り合う会 (中標津町) 議長
- 30日 第7期北方領土隣接地域振興計画説明会 (中標津町) 議長
- 議会だより編集特別委員会
- 31日 羅臼建設業協会新年交礼会 議長・経済文教常任委員長

2 月

- 7日 2013「北方領土の日」根室管内住民大会 (根室市) 議長
- 14日～15日 北海道町村議会議員公務災害補償等組合議会定例会 (札幌市) 議長
- 25日 全員協議会
- 28日 根室北部衛生組合議会定例会 (中標津町) 正・副議長ほか
根室北部廃棄物処理広域連合議会定例会 (中標津町) 正・副議長ほか
根室北部消防事務組合議会定例会 (中標津町) 正・副議長ほか

3 月

- 1日 北海道羅臼高等学校第38回卒業証書授与式 議長
- 4日 議会運営委員会
- 5日 経済文教常任委員会
- 6日 総務民生常任委員会
- 7日 議会運営委員会
- 8日 第1回定例町議会 (1日目) 全員協議会
- 11日 第1回定例町議会 (2日目)
- 12日 予算審査特別委員会 (1回目)
- 13日 予算審査特別委員会 (2回目)
- 14日 予算審査特別委員会 (3回目) 議会運営委員会
- 15日 第1回定例町議会 (3日目) 議会だより編集特別委員会
- 24日～26日 T P P交渉にかかる要請活動 (東京都) 議長
- 25日 議会だより編集特別委員会

北海道社会貢献賞受賞 (自治功労者) 村山修一氏 受賞



2月26日、多年にわたり地方自治の振興発展に貢献した功績が認められ、この度受賞されました。おめでとうございます。

編集を終えて

暖かくなってきました。今年の冬は雪も多く、温度も低く、非常に厳しい冬となりました。厳しかった分だけ今が暖かく感じます。季節の変わり目ですが、お体にはどうぞ、お気を付け下さい。

◆ ◆ 委員 小野 哲也



今年の冬は、記録的な大雪となりました。毎日の除雪は大変だったと思います。最近では暖かい日も増えてきて知床らうすの春もすぐそこまで来ている気がします。春漁も始まり、これから浜に活気が訪れる事を心より祈っております。今後より一層わかりやすい「議会だより」をお届け

けできるよう努力いたします。
◆ ◆ 委員 湊屋 稔

昨年引き続き豪雪となり、除雪費が多く使われましたが、雪解けも進んでまいりました。さて、二十五年度予算が確定し新年度がスタートしました。今後も誌面を通して活動をご報告致しますので皆様のご意見等をお待ちしています。気候なお不順の折柄ご自愛專一にお祈り申し上げます。
◆ ◆ 委員 田中 良

◆ ◆ 今号を以て現委員は任期満了となりますが、通算六年間、重責ある当委員会委員長を務めて参りました事は同委員の皆様のお力添えの賜物と誌面をお借りし感謝申し上げます。
◆ ◆ 五月からは、常任委員会ともども新しいメンバーとなる予定でございます。

◆ ◆ 今後とも議会だよりをご愛読戴きますようよろしく
◆ ◆ お願い申し上げます。

◆ ◆ 委員長 高島 讓二